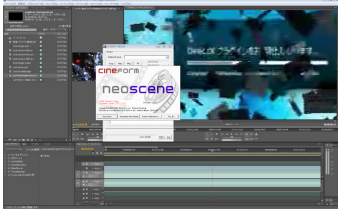




高品位な中間コーデックで軽快に編集



CineForm ファイル変換ユーティリティ neoscene

CCI/My PLANET 中ノ子 基高

CineForm から、AVCHD コーデックや EOS 5D Mark 7D の MPEG4/H.264 AVC を快適に編集するための中間コーデック「neoscene」が発売になった。neoscene は同社 neo シリーズのエントリーに位置しており、AVCHD/HDV/キヤノン EOS 5D Mark 7D など多くの H.264 および MPEG2 ベースフォーマットを快適に編集できるようになる。

neoscene の概要

neoscene はいわゆる「中間コーデック」として存在する。そのため、neoscene を使えば AVCHD などの映像ストリームを編集できる... というわけではない。あくまでも、なにかの編集アプリケーションの一部として使われることに主眼を置いた「コーデック」の一種だ。この種のコーデックとしては、Grass Valley の Canopus HQ Codec や、Apple の Pro Res422 などが有名だが、それらと同じような機能をもったものと思えばいいだろう。

neoscene はキャプチャー・バッチコンバートフロントエンドの「CineForm HD Link (図1)」と、コーデック本体である「CineForm HD」から構成される。CineForm HD Link はマシン本体に接続されるキャプチャー・バッチコンバートフロントエンドの「CineForm HD Link (図1)」と、コーデック本体である「CineForm HD」から構成される。CineForm HD Link はマシン本体に接続されるキャプチャー・バッチコンバートフロントエンドの「CineForm HD Link (図1)」と、コーデック本体である「CineForm HD」から構成される。

特徴	名前	形式	バイナリ	バージョン
ICM	Microsoft RLE	RMLE	msrle32.dll	6.1.7600.16490
ICM	Microsoft Video 1	MSVC	msvidc32.dll	6.1.7600.16490
ICM	Microsoft YUV	UYVY	msyuv.dll	6.1.7600.16490
ICM	Intel IYUV コーデック	IYUV	iyuv_32.dll	6.1.7600.16490
ICM	Toshiba YUV Codec	Y411	tsbyuv.dll	6.1.7600.16490
ICM	Cinepak Codec by Radius	ovid	icovid.dll	1.10.0.12
ICM	DVCPROSD	CDVS	cdvcodec.dll	2.0.0.4
ICM	Canopus Lossless	CLUC	clucodec.dll	1.2.0.3
ICM	Canopus HQ	CUVC	cuvcodec.dll	1.4.0.8
ICM	Canopus DV	CDVC	cdvcodec.dll	2.1.0.2
ICM	DVCPRO HD	CDHV	cdhcodec.dll	2.0.0.5
ICM	Canopus MPEG2-Intra	CMIC	cmiccodec.dll	1.1.0.1
ICM	CineForm HD Codec v6.0.0	CFHD	CFHD.DLL	6.0.0.434
DMO	Mpeg4s Decoder DMO	mp4s	mp4sdecod.dll	6.1.7600.16385
DMO	WMV Screen decoder DMO	MSL1, MSS2	wmvdecod.dll	6.1.7600.16385
DMO	WMVideo Decoder DMO	WMV1, WMV2, WMV3, WMVA, WVCC1, WMVP, WVP2	wmvideod.dll	6.1.7600.16385
DMO	Mpeg43 Decoder DMO	mp43, MP43	mp43decod.dll	6.1.7600.16385
DMO	Mpeg4 Decoder DMO	MPG4, mp4, mp42, MP42	mpg4decod.dll	6.1.7600.16385

図2 Windows 7のWindows Media Playerのヘルプ画面から確認したCineForm HDコーデック。Windows XPならコントロールパネルのマルチメディアからコーデックとして確認することができる

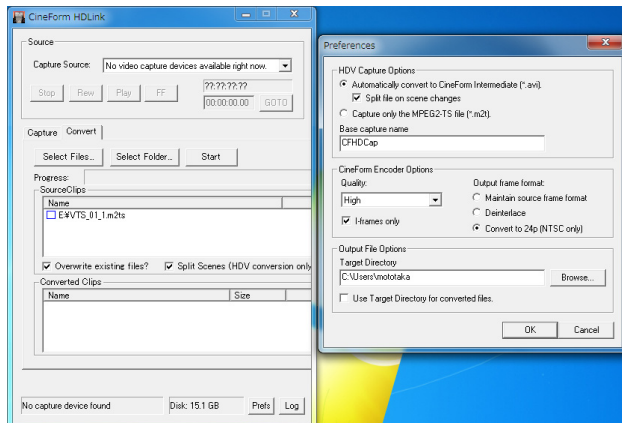


図1 バッチコンバーターは、ファイルを選択すればそれをCineForm HDコーデックに変換してくれる。キャプチャー画面と共通のオプションとして、変換時のクオリティを指定したり、30fps 24fpsへの変換オプションなどが提供される。約5分のAVCHD素材をCineForm HDに変換するのに必要な時間は、1分40秒程度だ(17-860 @ 3.1GHz動作時)

ブチャードバイスからの映像を、CineForm HDコーデックとして記録するためのもので、IEEE1394端子のほか、対応可能なキャプチャーデバイスからの映像ストリームをCineForm HDコーデックとして指定したストレージに記録していくことが可能だ。HDVについては、ある程度のデッキコントロールも可能となっているため、わざわざM2TSをキャプチャーしてからCineForm HDに変換するよりも効率的な運用が可能となっている。

また、CineForm HD Linkにはバッチコンバート機能も搭載されている。これにより、メモリーカメラ/HDDカメラといった、データ構造をもつ映像ストリームも一気に変換できるようになっている。

ここまでであれば、フリーウェアでもなんとかなるかな? と思えるかもしれないが、neosceneの実力は、CineForm HDコーデックのもつクオリティの高い映像だ。フルHDに対応した最大解像度1920 x 1080の60i/50iはもちろん、24p/25p/30p/60pといっ

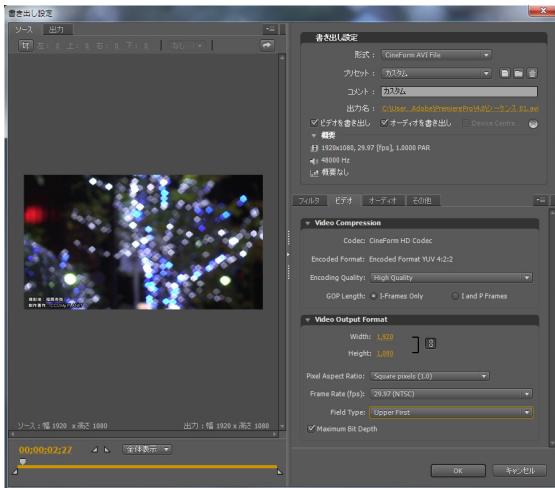


図3 Premiere Proのタイムライン書き出しから見たCineForm HDコーデック。このようにして、Premiere Proから簡単に...というよりも、なんの意識もせずに出すことができる。After Effectsでも同様に読み書きすることが可能だし、Vegas Pro 9に素材を渡す場合にも利用できる

表1 neosceneの主な仕様

対応素材：HDV、AVCHD、EOSムービー（EOS 5D Mark /EOS7D）
対応編集ソフト：Apple Final Cut Pro/i Movie、Adobe Premiere Pro CS3/CS4/Premiere Elements、Sony Creative Software Vegas Pro/Movie Studio
対応OS：Windows XP SP3、Vista SP1/7(すべて32ビットと64ビットに対応)、Mac OS X 10.5以降
Quick Time：Mac、WinともにVer.7.6.5必須
メモリー：Windows3Gバイト以上、Mac 4Gバイト以上
CPU：Intel Core 2 Duo以上(Core i7推奨)
HDD：SATA 7200回転 1ドライブ以上

た全HDフレームレートに対応する。

コーデック自体は10ビット4：2：2の色差解像度をもつAVI/MOVコーデックで、Windows/Macを問わず活用できる。

neosceneの活用

neosceneの活用シーンはもっぱら、複数ストリームの映像素材をリアルタイムに編集したい場合や、ビデオライブラリーとして編集データを保存したい場合だろう。CineForm HD Codecは、ProRes 422やCanopus HQ Codecと同等以上のクオリティをもつとされており、テロップなどが入っていない「白完パケ」を素材として保存しておく場合にうってつけだ。WindowsからMOV形式でも出力できるためWindows/Mac間でのデータ受け渡しにも活用できる。特にWindows/Macの両方を導入しているプロダクションにとっては、便利だ。

使い方は、至極簡単。インストールが完了すればAVIファイルをハンドリングするほとんどのアプリケーションでCineForm HDを取り扱えるようになる。正しくインストールされたかどうかは、Windows Media Playerの[ヘルプ]-[バージョン情報]-[テクニカルサポート情報]から参照しよう(Windows 7にインストールした場合、図2)。この状態であれば、Premiere ProでもAfter Effectsでも利用することができる(図3)。

実際のクオリティは？

今回、時間がなかったこともあり他の中間コーデックとの比較は行っていないが、AVCHD素材をPremiere Proで再度H.264(17Mbps)とCineForm HD(高画質)

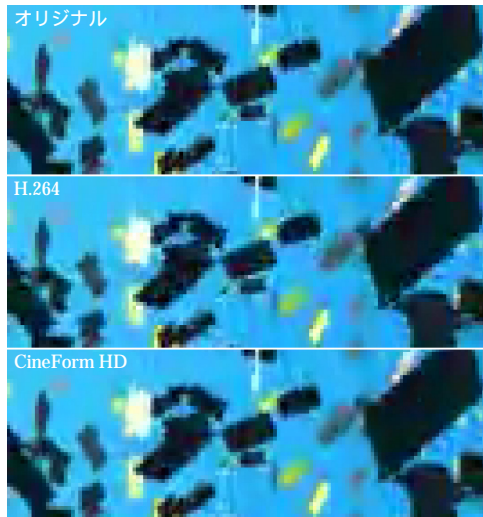


図4 AVCHD素材(上)をオリジナルとして、再度17MbpsのAVCHD(H.264)に書き出したもの(中)と、CineForm HDコーデックで書き出したもの(下)。細部を拡大した状態で見ると、H.264は劣化が激しく素材の再圧縮は避けたいところだが、CineForm HDでは劣化度合いが抑えられているのがわかる

に変換したものを図4に掲載したので、参考にしてほしい。モノクロで見づらいかもしれないが、H.264ではディテールが潰れてしまっているのに対し、CineForm HDでは比較的良好に再現できていることが確認できる。

圧縮にかかる時間はAVCHDより気持ち速い程度だが、展開に関してはかなりよい数値を期待できる。Windows/Macのクロスプラットフォームで映像制作を行っているプロダクションなら、すぐにも導入したい一本だ。

価格：¥3万1500(税込) 問い合わせ先：オービット・ミュージクス 03-5459-1161 URL：<http://www.musetexsystem.com/>